

〔科目名〕 フィールドスタディ	〔単位数〕 2 単位	〔科目区分〕 基礎科目
〔担当者〕 引率・指導(クラス担当) 青山 直人、河野秀孝 樺 克裕、國方 明 小寺 俊樹、森 統 コーディネーター 七宮 圭	〔オフィス・アワー〕 時間: クラス担当教員の指示に従ってください。 場所: 同上	〔授業の方法〕 講義、演習
〔科目の概要〕 具体的な経済活動の場について知り、現実感を持って経済活動を理解したり分析したりすることに興味を持ち、経済学への学習意欲を高めることが授業の目的です。したがって経済学科能力育成プログラムの第一段階の「経済学への動機づけ」の役割も担っています。春学期で履修済みの経済学基礎論とともに経済活動の場を具体的に知ることを通じ、実社会の経済活動に対して科学する心が芽生えるものと考えています。 例年、授業では県内の事業所を見学することにしていましたが、今年度は、新型コロナウイルス感染症対策を考慮し、事業所の訪問・見学を控え、代わりに、事業者より講師をお招きし、それぞれの現場における運営・活動の状況を詳しく解説していただくことにしました。所属クラスについては、春学期に決定済みで、学内に掲示しています。各自確認してください。今年度の講話の実施日は、以下の3つ(いずれも木曜日5時限)です。 9月30日(クラス①②⑤⑥)、10月7日(クラス①②③④)、10月14日(クラス③④⑤⑥) この授業を有意義なものにするため、各人がレポートを書き、クラス担当教員に提出するようにします。レポートでは講話で受けた説明を通じて社会の経済活動に関する皆さんの一層の興味や理解を深めることが主な狙いですので、各自がテーマを選び、何が(経済的)課題で、課題解決のためには、何が必要とされないかなどをまとめてください。<u>レポート執筆はこの科目の重要な位置づけになっています。</u>皆さんの自主性を重んじていますので、各自が課題を持ち、積極的に図書館などを利用して文献調査を行い、さらに必要な基本的知識も学習してください。レポートには参考文献リストも書いてください。レポート執筆の際はクラス担当教員に積極的に相談してコメントを受け、学期末に実りあるレポートを提出してください。 具体的な流れ： 1. 事前研究 2. 講話の聴講 3. レポート執筆 講話の聴講やレポートを実りあるものにするためのポイントは、次のような心構えや準備です。自分はどういう視点で事業者の講話を聴講するのかを事前に決めておくことです。そのような視点に基づく事前的な調査も大切です。		
〔「授業科目群」・他の科目との関連付け〕・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか〕 実際の経済活動の場を知り、現実感を持って経済学を学習するきっかけを与えるとともに、経済学科能力育成プログラムの第一段階の「経済学への動機づけ」の役割も担っています。実際に現場で事業を行っている方の講話を通じて実社会の経済活動の諸問題に対して興味を持ち、それらを論理的に理解したり分析したりすることの重要性を認識してください。さらに今後の履修される展開科目の動機づけになればと思います。		
〔科目の到達目標(最終目標・中間目標)〕 講話の聴講と自主性を重んじたレポート執筆を通じて学生自らが経済的な問題について考えるようになれば幸いです。その際には何が重要になるのでしょうか。一年生の段階では統一的・論理的分析が困難であっても、論理的思考力を鍛えることの重要性は認識してください。そのような視点から聴講したりレポートを書いたりしてください。そのような視点は、今後履修される展開科目でも役立つはずです。		

〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕 授業評価では、レポート指導について懇切丁寧であるとのコメントがありました。今年度においても、引き続き充実したレポート指導を心掛けます。	
〔教科書〕 なし。但し、クラス担当教員が適宜資料を配布する予定です。	
〔指定図書〕 なし	
〔参考書〕 なし	
〔前提科目〕 なし	
〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) 次の 2 つを総合して、各受講者を評価します。(1)講話・授業における活動・貢献、(2)講話の聴講後に執筆するレポート。	
〔評価の基準及びスケール〕 〔学修の課題、評価の方法〕で書いた通り、講話・授業への参加状況と、レポートの総合評価に基づいて、皆さんの成績が決まります。さらに言えば、講話への参加はレポート執筆の前提となりますので、当日は必ず出席してください。冠婚葬祭など、やむを得ない事情で欠席する場合には、クラス担当教員へ早急に連絡してください。 成績評価の詳細については、授業の最初の時間にクラス担当教員から説明があります。	
〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕 ● 本科目は多くの学内外の方々の協力を頂いて成り立っています。この科目が有意義なものになるよう講話での皆さんの積極的な質問や姿勢を期待しています。さらには意欲的なレポートも期待しています。 ● [科目の概要]で述べたように、この科目では春学期中にクラス編成を済ませています。このため、原則として秋学期中のクラス間移動を認めません。 ● 2021年 6 月 28 日(月)の説明会で、資料を配布しました。この資料には、事業者の紹介や注意事項を挙げています。本科目の受講に際して、この資料を適宜参照してください。	
〔実務経歴〕 (※実務経験のある教員:河野教授、樺教授、國方准教授、小寺准教授) 各教員の実務経験を活かし、具体的な経済活動の場に通じ、現実感を持って経済活動を理解したり分析したりすることに興味を持ち、経済学への学習意欲を高めることを目的とした授業です。	
プログラムの段階的スケジュール	
1 段階	講話を聴く事業者に関する事前研究
2 段階	講話聴講
3 段階	レポートの課題決定 (クラス担当教員と相談)
4 段階	クラス担当教員による <u>レポート添削を 2 回</u> 行います。
5 段階	<u>最終レポートの提出</u> (クラス担当教員へ)。 提出期限は、各クラス担当教員の指示に従ってください。